

区

小学校

先生

横浜市小学校社会科研究会

6 学年部会

研修会記録

第8号

令和元年

2月12日

横浜市小学校教育研究会

会長 榮 秀 之

横浜市小学校社会科研究会

会長 新 井 篤 志

同 学年部長 杉 本 敬 之

【提案日時】

1月8日(水)

提案 廣瀬 貴樹 先生(大門小学校)

【会 場】

横浜市立丸山台小学校

提案 古橋 望 先生(高田東小学校)

司会 杉本 敬之 先生(茅ヶ崎小学校)

記録 松本 勇二 先生(丸山台小学校)

①分析提案

提案者	廣瀬 貴樹 先生(大門小学校)	古橋 望 先生(高田東小学校)
授業者	新しい時代の幕開け ～横浜の生糸貿易が支えた日本の近代化～ 平本 美峰 先生(山元小学校)	近代国家に向けて ～条約改正と人々の営み～ 中野 純貴 先生(西富岡小学校)
視点① 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で見学した富岡製糸場の共通経験を導入時に扱うことから単元を見通す学習問題を生み出すことにつなげた。 ・見学時に聞いた「外国から100年もの遅れをとっている」という話題が、子ども達にとってインパクトの強いものとなり、本気の追究につながった。 ・自分たちと同世代の人を取り上げることで、子ども達の興味関心が高まり、自分事として受け入れることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルマントン号事件の資料から単元目標が立った。 ・年表を提示することで、追究意欲を高め、見通しを明確にもつことができ、学習計画を立てることにつながった。 ・年表と押さえない指導要領の内容とがリンクしていて、学習問題につながる予想が立てられていた。
視点② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見をしっかり受け止めていた。 ・多角的な視点で話し合うことができていた。 ・適切な問い返しにより、子どもの思考を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の対話が見られた。 ・資料をよく読んで話し合っていた。 ・グループの対話がきちんと成立していて、討議内容を修正することもできていた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・45分間で3つの視点が混在していたので、どう整理すればよかったのか。 ・「近代化」を子どもたちなりにとらえている言葉に着目していけると良かった。(概念的知識の視点から) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文の考え方の資料が学習問題の答えになっていた。資料の出典をはっきりさせる。 ・学習問題に2つの考えることがあったので、どんな憲法を作りたいかたのや、本当に外国にから認められるのかなど1つにするとよいのでは。

②学年のまとめ（6学年部会 推進部部长 杉本 敬之先生より）

視点①成果

- 単元を見通す学習問題について
単元を見通す学習問題を成立させるために、既習事項を生かして工夫していた。
- 学習計画について
年表を精選することで、子どもたちが見通しをもって学習計画を立てていた。
- 振り返りについて
単元を見通す学習問題に立ち返っていた。また一つのワークシートに毎時間振り返っていたことで、その単元の中で自分にどのような変容があるのかをすぐに確認することができた。

視点②成果

- 本気の学習問題で積極的な交流が見られたことから、子どもたちが考えたいと思う学習課題問題になっていたと考えられる。
- 本時目標とのつながりを意識して資料提示を行うことができていた。また、資料を出すタイミングが良かった。
- 個別の社会的事象を追究することで、個別の知識をつなげて概念化されるのが見えた。

課題

- 本気の学習問題の成立過程やそれが子ども達にとって共通の問題になっているのか分からなかった。
- 資料を子どもたちにとって分かりやすいものにしていく必要がある。

③世話人校長より（滝頭小学校 鶴飼 数夫 校長先生）

- 1年間お疲れさまでした。各校それぞれ厳しい校内事情を乗り越えながら毎月集まっているのだから、せっかくの機会をより有効に学びを深めていけるとよい。
- 単元目標・本気の学習問題を、新学習指導要領を参考につくっていけるように研究を深めていけるとよい。
- 学習問題に対して議論をしていくことはこれからも大切にしていこう
- 話し合いで目指すべきは、子どもに正解を求めるより、納得させることを大切にしていこう。
- 概念的知識の獲得から社会性や人間性が養われることを再認識してもらいたい。
- 来年度から政治単元が先になるので、日本国憲法との比較の上で大日本国憲法を扱いやすくなる。さらに、今の社会や生活と比較・関連付けながら歴史を学習していくことができる。

文責 松本 勇二 (丸山台小学校)

発 関口 暁之 (永谷 小学校)